

## 青年部会活動報告

# 第 38 回 横浜開港祭支援参加 2019

日時 令和元年 6 月 1 日(土)~6 月 2 日(日)

場所 横浜臨港パーク全域(みなとみらい 21)

参加者 184 名(青年部メンバー及び青年部会員企業従業員、クラーク記念国際高等学校)

□ 賑わいのある様々な催しを実施し、まちづくりと観光の活性化を図るために開催される「横浜開港祭」のお祭りの終わりに待ち受けるのが大量のゴミ問題でした。こうした大量のゴミをきれいに分別し、集積、リサイクルへと結びつける活動を青年部会の行事の一環として、令和元年6月1日から2日の間、実施したところです。

いつものことながら、ステージ上でのダンスや音楽ライブなどの各種イベントを目的に、多くの家族連れ、カップルなどが来場され、盛大な行事となりました。

□ 青年部会では、来場者の方に廃棄物を、分別、処理していただけるよう、「エコステーション」を7箇所を設置し、ゴミの分別、リサイクルの大切さを知っていただくとともに、協会が取り組んでいる環境問題等への取組や資源の再利用を推進する取組など、広報活動にも積極的に取り組むことによって、協会の認知度を高めることにも努めました。

ゴミ問題が多くの方にも理解され、分別の重要性にも理解が進めば処分に要する費用の低減にもなることを身近に感じていただく機会としても意義深いものと思っています。

今後、発生するであろう地震等の大規模災害時における私たち協会の取組に対する理解を得るためにも、こうしたイベントにも積極的に参加し、社会貢献をとおして広報することの重要性を再確認できた、いい機会であったと思っています。

□ 開港祭が終わり、多くの来場者の方が去った後の会場では、青年部会のメンバーが総出で、山と積まれた廃棄物の開封と分別が夜を徹して続けられました。地域密着を大切にし、協会の小さな取組でもその積み重ねが将来になにか得るものがあるであろうと思いつつ、活動を終わりにしたところです。

なお、回収された廃棄物の種類とその回収量は、次のとおりでした。

### 【廃棄物回収量】

紙ごみ	2,700 kg	廃プラ	41 m <sup>3</sup>
事業系一般廃棄物	2,650 kg	汚泥	280 kg
瓶・缶・PET	1,400 kg	PET キャップ	—





### 【参加企業一覧表】

J & T環境株式会社・株式会社デスポ・笹田実業株式会社・株式会社タケエイ・横浜環境保全株式会社・株式会社中商・中央カンセー株式会社・株式会社三菱商事・藤木商事株式会社・株式会社環境管理センター・桃神興産有限会社・ソリタ運輸株式会社・有限会社宇佐美・株式会社グリーン・株式会社グローバルテクノス・株式会社ニチュ・テクノ・株式会社東産業(横須賀地区)・株式会社須藤商事・横浜エコロジー株式会社・株式会社三興ソウビ・株式会社ONE・株式会社ケイ環境企画・株式会社佐久間商事・コベルコ建機日本株式会社・株式会社FTN・株式会社INE・藤木陸運株式会社・大和ハウス工業株式会社・クラーク記念国際高等学校 他ボランティアスタッフ

以上 会員番号順